

報道関係者各位(参考情報)

2021年4月30日

# 「免疫サポート」プロジェクト始動！

## 免疫サポート社会貢献評議会を設置

## 医師など有識者の助言で社会に貢献

株式会社ファンケルは4月30日から、免疫機能を維持する機能性表示食品「免疫サポート」を通じて、社会に貢献する「免疫サポートプロジェクト」を開始します。「免疫サポート」は日本で初めて「免疫機能の維持」が表示できる発泡するチュアブルタイプのサプリメントです。当社では、プロジェクトの開始にあたって、有識者で構成する「免疫サポート社会貢献評議会」を設置。同評議会からの助言などを基に、医療従事者やイベントへの製品寄贈などを展開して「免疫サポート」を通じた社会貢献を行います。

### ◆「免疫機能を維持する」サプリメントで社会に貢献

2020年12月に販売を開始した「免疫サポート」(60粒:3,100円、14粒:790円<いずれも税込>)は日本で初めて「免疫機能を維持する」と表示できる発泡するチュアブルタイプのサプリメントです。機能性関与成分である「プラズマ乳酸菌」はキリンホールディングス株式会社が開発した乳酸菌で、免疫の司令塔に働きかけて、免疫を活性化させることを臨床試験などで確認しています。昨年来続いている新型コロナウイルスの感染拡大により、免疫力に関心が高まっていることもあり、ヒット商品となっています。

今回のプロジェクトは「免疫サポート」を通じて、現下の社会課題に対応した社会貢献を行いたいという想いで発足したものです。



免疫サポート

(60粒:約30日分)

### ◆「免疫サポート社会貢献評議会」が支援内容を助言

プロジェクトを開始するにあたって、第三者機関として、医師や学識経験者、報道関係者で構成する「免疫サポート社会貢献評議会」を設置しました(メンバーの経歴と写真は別掲)。今後、評議会の助言を通じて、医療従事者への製品寄贈など、社会のさまざまな場面で「免疫サポート」を活用いただく予定です。

これまでに「免疫サポート」を通じて行った支援(別掲)に加えて、同製品を活用する新しく効果的なアイデアやヒントをいただき、速やかに実施してまいります。あわせて、医療、介護、保育などの機関、公的団体からの「免疫サポート」の寄贈依頼にも応えていく予定です。

## 「免疫サポート社会貢献評議会」のメンバー（敬称略、五十音順）



### 大谷 泰夫(おおたに やすお) 神奈川県立保健福祉大学理事長

1953年兵庫県生まれ。76年東京大学法学部卒。同年厚生省入省。医政局長、厚生労働審議官などを経て退官。14年第2次安倍政権において、内閣官房参与を務める。18年4月現職に就任。社会福祉法人日本保育協会理事長なども現任。神奈川県黒岩祐治知事が進める「未病」概念の提唱者。厚生労働省時代には新型インフルエンザ感染防止対策の指揮を担った。

### 西澤 真理子(にしざわ まりこ) リテラジャパン代表

1968年東京都生まれ。91年上智大学外国語学部ドイツ語学科卒。英国ランカスター大学で環境政策修士号。インペリアル・カレッジ・ロンドンでリスク政策・リスクコミュニケーション博士号を取得。帰国後、厚生労働省薬事・食品衛生審議会委員などを務める。正確な知識を普及させて飲食の場で新型コロナウイルスの感染を防ぐため、感染症の専門医とともに「夜の街応援！プロジェクト」を実施中。



### 堀江 重郎(ほりえ しげお) 医師 順天堂大学医学部教授

1960年東京都生まれ。85年東京大学医学部卒。日米両国で医師免許を取得。03年帝京大学医学部主任教授に就任。12年より現職。日本初の男性外来、メンズヘルス外来を開設するなど、男性のアンチエイジングの日本における先駆的研究者であり、第一人者。19年から日本抗加齢医学会理事長を務める。著書やメディアでの論考も多数。

### 松井 清人(まつい きよんど) 前文藝春秋代表取締役社長

1950年東京都生まれ。74年東京教育大学(現:筑波大学)文学部卒。同年4月文藝春秋入社。週刊文春、文藝春秋編集長などを歴任し、14年同社代表取締役社長に就任。18年6月退任。

著書にオウム真理教事件や少年A事件などの取材秘話をまとめた「異端者たちが時代をつくる」(プレジデント社刊)。



### 森下 竜一(もりした りゅういち) 医師 大阪大学大学院寄付講座教授

1962年岡山県生まれ。87年大阪大学医学部卒、91年スタンフォード大学大学院に留学。帰国後、03年に大阪大学医学部大学院寄付講座教授に就任。99年には大学発のバイオベンチャー企業、アンジェスMGを起業する。13年内閣府規制改革会議委員、内閣官房健康医療戦略本部戦略参与。現在、国産の新型コロナウイルスワクチン、治療薬の開発に先駆的に取り組んでいる。

## 免疫サポートを通じたこれまでの社会貢献の取り組み

### 1. 読売ジャイアンツ・スポーツ健康検査センターに寄贈

2月22日(月)、読売巨人軍がキャンプ地である沖縄県那覇市に開設した「読売ジャイアンツ・スポーツ健康検査センター」に、「免疫サポート(60粒)」2,000個を寄贈いたしました。同センターは、読売巨人軍など沖縄県内でキャンプを実施する一般社団法人日本プロ野球機構の球団やリーグのクラブ、報道陣などの方に、定期的にPCR検査を実施する目的で開設されました。寄贈は、PCR検査を受診した巨人軍の選手やスタッフの健康管理に役立てていただくために実施しました。



読売巨人軍 原辰徳監督

### 2. 湘南鎌倉医療大学の学生への寄贈

4月9日(金)、神奈川県鎌倉市にある湘南鎌倉医療大学の学生や職員などに「免疫サポート(60粒)」300個などを寄贈いたしました。

湘南鎌倉医療大学は、2020年に開校した看護師などを養成する大学です。コロナ禍の中、さらに社会のニーズが高まっている看護師の卵である約200人の学生などの健康を維持し、安心して学業に励んでいただくため、同製品を寄贈しました。あわせてグループ会社のアテナアの化粧品300個もお送りしました。



神代龍吉副学長(左2人目)と学生

### 3. 神奈川県看護連盟への寄贈

4月26日(月)、神奈川県横浜市の神奈川県看護連盟を通じ、神奈川県下で新型コロナウイルス患者の看護にあたる8つの病院の看護師など517人に、「免疫サポート(60粒)」517個とハンドケアアソートセット353個を寄贈しました。現場の最前線で働く看護師の方の免疫維持と、手荒れのケアなどを目的に寄贈を行いました。



奥本信子会長(右)と弊社山本真帆SDGs推進室長

### 参考:弊社グループ従業員への配布

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐ3回目の緊急事態宣言が4月25日(日)から東京都、大阪府、兵庫県、京都府に発令されたことを受け、5月6日(木)から当社グループ従業員やコールセンターなどの協力会社の方、約4,500人に「免疫サポート(60粒)」を配布します。コロナ禍が続く中、「正義感を持って世の中の『不』を解消しよう」という創業理念を全社一丸で実現すべく、そのために欠かせない健康と免疫を維持し、安心して働いてもらうことが目的です。今後も「免疫サポート」を継続的に従業員に配布する予定です。



本件に関する報道関係者の皆様からのお問合せ先  
株式会社ファンケル 経営企画室 広報部

TEL:045-226-1230 FAX:045-226-1202 / <https://www.fancl.jp/>